社会福祉法人さぽうと 21 就学支援（奨学金）

2027 年度「坪井一郎・仁子（つぼいいちろう・じんこ） 学生支援プログラム」（坪井基金）

募 集 要 項

概 要	**社会福祉法人さぽうと 21「坪井基金 」**について 東洋熱工業株式会社の創業者、坪井一郎・仁子ご夫妻の遺贈をもとに、2005 年に開始いたしました。日本に定住する**外国にルーツをもつ学生**で、優秀な成績を収め、将来国内外で活躍が期待されるものの、経済的に学業の遂行が困難な人に「生活支援金」を支給いたします。また、研修会や面談等を通じて進路や生活全般の相談に応じ、卒業後の自立に向けて学生生活を支援します。 			
応 募 資 格	応募期間	**2026 年 10 月 5 日（月） ～ 11 月 20 日（金）** ※ 必 着		
	日本での在留資格	日本に定住する外国にルーツをもつ学生で、以下の a または b に該当する人 a) 難民とその子など、本人／親が難民またはそれに準ずる背景により来日した人 b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ人		
		※ 既に日本国籍になった人も含む ※ 「留学」の在留資格は対象外		
	学 年	2027 年 4 月に **大学 3 年生以上** または **大学院** 在籍／進学見込み		
		※ 主に理系を優先（専攻分野の指定なし） ※ 大学院については、修士課程優先		
給 付 内 容	期 間	**2027 年 4 月 ～ 2028 年 3 月**	人 数	**20 名 程度**
	金 額（原則）	■ 大学院生：72 ～ 120 万円 ／ 年 ※ 返済の義務なし ■ 大 学 生：60 ～ 100 万円 ／ 年 ※ 他の奨学金と重複して応募可		

社会福祉法人さぽうと 21 とは（1992 年設立）

日本に定住する難民、中国帰国者、日系定住者及びその子弟など、外国ルーツの人々の自立を支援する団体です。難民の定住支援を目的として 1979 年に設立された「インドシナ難民を助ける会」（現 AAR Japan [認定 NPO 法人難民を助ける会]）の国内事業を引き継ぎ、1992 年に社会福祉法人として設立されました。

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階 TEL：03-5449-1331 ／ Email：info@support21.or.jp

応 募 方 法

応募期間：2026 年 **10 月 5 日（月）～11 月 20 日（金）** ※ 必 着

1 応募書類提出

2 一次選考（書類）

3 二次選考（面接）

＜ 応 募 書 類 ＞

提出方法 ： レターパック、簡易書留（郵便局窓口）、持ち込み

① 応募用紙 ホームページよりダウンロード可 **https:// support21.or.jp**	**④ 住民票** 同居する家族全員分 国籍、在留資格、続柄 明記
② エッセイ 来年度の研究計画について 800 ～ 1000 字程度（日本語） A4 横書き 必ず氏名を記入すること	**⑤ 収入の状況を示す書類** 以下の a または b を提出 生計を同一にする家族分（学生以外） a 課税証明書 b 生活保護 受給証明書
③ 推薦状 推薦者は指導教官が望ましい ホームページよりダウンロード可 ※期日までに提出することが難しい場合は応相談	**⑥ 成績証明書** 3 ヵ月以内に発行されたもの GPA が明示されたもの **⑦ 合格通知書**（コピー） 2027 年度 入学予定者 のみ

追加書類の提出をお願いすることがあります。

結果通知：**12 月下旬**

面 接 選 考 1 月 17 日・24 日 （日曜）	当法人事務所で実施予定（交通費支給） 受験校に不合格だった場合は再選考

結果通知：**2 月中旬**

支援生に選ばれたら以下の義務があります

8 月 頃	夏期研修会への参加
11 月 頃	研究報告会での発表
毎月	研究活動等の近況報告

※その他に講演会、交流会での発表や、寄稿などをお願いすることがあります。

社会福祉法人さぽうと 21

坪井一郎・仁子学生支援プログラム 受付係

〒141-0021

東京都 品川区 上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階

TEL : 03-5449-1331 ／ Email : info@support21.or.jp

（ 対応時間：平日 午前 10 時 ～ 午後 5 時 ）